広報
NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

No.69
8月号
2011
（平成23年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町　検索

今月の内容

平成２３年度成人式……2～3P
病院建設検討委員会……4～5P
震災関連……8P
はてしらずの道俳句大会……9P
地域レーダー……12P～13P

気持ちを合わせてイチ、ニイ、イチ、ニイ

錦秋湖でのボート体験、心を一つに前へ進みます
（沢内小３年生）（関連記事P6）

〈成人者名簿〉
（順不同、敬称略）

【湯田】
髙橋　成海、菅野　静香、
髙橋　亮平、髙橋　翼、
佐々木大樹、佐々木加菜、
髙橋　春奈、森田　佳凜、
柏崎　亜美、柏崎　星也、
小田島章裕、髙橋　一成、
伊藤　知美、加藤めぐみ、
髙橋　奈那

【湯本】
山本　雪佳、小田島　香、
千田光一郎、髙橋　成勇、
久慈恵美子

【川尻一区】
吉岡　晃宏、千田　園子、
髙橋知奈美

【川尻二区】
佐藤　弘美、大友　竜志、
髙橋　沙希

【上野々】
大友　洋平、西方　千遥、
髙橋　寛子、真嶋　想、
髙橋　仁、奥山　優輝、
金子　翔平

【耳取】
深沢　成平

【左草】
髙橋　直樹、宇都宮友美、
藤原　裕司

【槻沢】
藤原　由貴、刈田ひかり、
野澤　佑太

【湯之沢】
髙橋　美波、小林　楓、
五十嵐　将、髙橋　和也、
髙橋　佳苗

【湯川】
髙鷹　紗貴、髙橋奈津美

【小繋沢】
髙橋慎太郎

平成23年度成人記念式

90人が大人の仲間入り

8月15日、銀河ホールで平成23年度西和賀町成人記念式が行われました。

今年の町内の成人対象者は、平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人で、男性、女性それぞれ45人で90人です。

当日は成人対象者66人が出席したほか、中学校卒業時の担任の先生や町議会議員を始め多くの来賓の皆さんがお祝いに駆けつけました。

成人証書授与

細井町長から、成人者を代表して藤原誠さん（川舟）に成人証書が授与されました。

成人者誓いのことば

成人者を代表して、西方千遥さん（上野々）と深澤礼美さん（川舟）が、成人にあたっての決意の言葉を述べました。

成人証書を受け取る藤原さん

希望を抱き未来へ向かって

【越中畑】
柳澤　一樹、照井　愛、
菊池　冬輝
【白木野】
中島　大樹
【貝沢】
岩井　麻美、中野　学、
田髙　愛美
【若畑】
久保　和輝、藤原　知幸、
赤澤　優、大澤　貴成、
松本　菜海、石川　千鶴、
吉田　琢哉
【川舟】
山本　智明、藤原　誠、
髙橋　里子、佐々木毬巴、
深澤　礼美
【泉沢】
田中　龍、田中　美緒、
平澤　亮太
【長瀬野】
土井さつき
【弁天】
髙橋　紫、髙橋　真人、
髙橋祐美華
【猿橋】
近藤舞奈美、和泉　淳樹
【太田】
深澤　千秋、佐々木朋恵、
米澤　麻衣
【前郷】
内記和歌子、髙橋　奈々、
佐々木大慶、佐々木絵美
【新町】
加藤　彩、佐井　遥、
有馬　淳樹
【東大野】
髙橋　理沙
【大野】
有馬　慎也、畠山　惇史、
加藤　翔太

変わらない過去を大切に

西方　千遥　さん

一生に一度の成人式をこの西和賀で、そしてここにいる友人たちと迎えることができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちはいまこの大好きな故郷で、大好きな仲間と共に、思い出話やたわいもない話で笑いあえます。このことが本当に幸せなことだと感じさせる出来事が約五ヶ月前、3月11日に起きました。

3月11日、わたしたちの想像を遥かに越えた、大地震が起きました。多くの人の命を奪い、多くの人の心に深い傷を残し、いまだに多くの人が不自由な生活を余儀なくされています。この年に成人式を迎える私たちには大きな責任と意味があると思います。復興には10年以上かかると言われています。10年の中で徐々にこの大震災のことも忘れられていくことでしょう。思い出したくない、忘れたいと思う方もいると思います。しかしこれからの時代を担う私たち新成人はより強く生きていかなければならないと思います。未来は変わっていきますが過去は変わりません。だからこそ変わらない過去を大切にしましょう。過去を忘れずに大切にしていきましょう。

未来を良くも悪くもできるのは自分たちだという自覚を持ち、立派な大人になりたいと思います。

気持ちを引き締め、社会の一員として

深澤　礼美　さん

3月11日に発生した東日本大震災から5ヶ月が過ぎ、私たちの生活は以前と変わらないものになってきましたが、被災地では未だ多くの方が避難所生活を余儀なくされ、西和賀町でも多くの方を支援しています。復興作業も本格化されるなかで、未曾有の被害を受けた沿岸の方たちに私たちが何ができるかを考え、1日でも早い復興に努めていかなければと感じております。地震で被災された方たちに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、私は高校卒業と共に企業に就職しましたが、早いもので今年で社会人3年目となりました。毎日職場の先輩には助けられ、同僚たちに助けられ、支えあいながら、日々を過ごしています。社会に出て仕事をするようになり、様々な経験をしました。社会人として大切なことを数えきれないくらい得ることができ、これからもたくさんのことを学んでいきたいと考えています。

私たちは二十歳を迎えたばかりで社会人としてはまだまだ未熟ですが、成人として晴れの門出を迎えた今、大人として学ばなければならない事がたくさんあります。改めて気持ちを引き締め、社会の一員として活躍できるよう、努力を重ねていこうと思います。

地域医療の中核施設として
西和賀町新病院整備基本構想（案）がまとまる

新病院基本構想策定のため、5月から西和賀町病院整備検討委員会（吉野二郎委員長・いわて愛児会理事）が検討を重ね、7月28日に細井町長へ答申しました。

現在、この答申内容を踏まえ各地区で住民説明会が行われています。4～5月にかけて実施した町民病院の整備を行うにあたっての町民アンケートの結果も盛り込まれており、新しい病院体制づくりの基礎となっていきます。

新病院基本構想（案）（西和賀町病院整備検討委員会答申）からの抜粋

◎病院を建て替える理由は

（1）現病院は、築後35年を経過し、施設が老朽化していること。

（2）35年前の基準で建てられたため新たな基準に合わなくなっていること。

（狭い病室、廊下は車椅子などの利用に不便、構造上患者のプライバシーが守られないなど）

（3）県道から病院までの取り付け道路が狭く、バスの乗り入れが出来ないこと。

（4）各階の面積が狭く3階建てでは、高齢化が進んだ今日利用者への負担が大きいこと。

◎開院までの予定は

（1）今年度（23年度）中に基本計画策定、業者選定を行い、基本となる設計に入っていきます。

（2）来年度（24年度）中に実施設計、確認申請を行い着工の準備を行います。

（3）再来年（25年度）雪解け後着工し、本格的に工事を進めていきます。

（4）26年度の4月から7月まで医療器械の設置などの開院に向けた準備を行い、8月に開院する予定です。

◎建築を予定する場所は

外部の有識者等による病院整備検討委員会に、地域選定にあたって考慮す

吉野委員長から細井町長へ答申書が手渡されました

現在の沢内病院は昭和51年に建設

べき要件について諮問し、次の3点について答申をいただきました。

①西和賀町民のための病院であることから、全ての町民の利用を考慮した位置。

②自家用車及び県交通バスなど利用する患者の利便性を考慮し主要幹線道路に通じている位置。

③病院、駐車場ほか高次救急センター等への緊急搬送を必要とする患者のためのヘリポート用地など建設に必要な面積を確保できる位置。

具体的な地域については、病院整備検討委員会から答申された上記の要件及び町民の皆さんにお願いしたアンケート結果等々を踏まえ、現段階では町の中央部である大野々地区が適当との考えです。

◎新病院の方向性・診療科目・病床数・職員体制について

（1）新病院は、つぎのような方向性をもった病院にしようと考えています。

①将来の医療需要に対応できる病院

②高年齢化に伴い、発症の増加が予測される各種疾患に対応する病院

③救急患者には24時間いつでも対応できる病院

④患者サービスの向上に努める病院

⑤良質で安全な医療を提供する病院

⑥災害発生時の医療にも対応できる病院

⑦保健・福祉・介護との連携のとれた病院

⑧民間医療機関等との連携のとれた病院

⑨職員が働きやすい病院

⑩経営健全化への取り組みを進める病院

（2）診療科目は

内科・外科・整形外科・歯科・眼科・小児科

（3）病床数は　一般病床　40床（内訳　・4床室　8室　・2床室　1室　・1床室　6室予定）

（4）職員の体制は

正規として　医師5人（内科系2人、外科系2人、歯科1人）、看護師25人、医療技術員16人、事務員4人の50人と正規外として、看護補助者4人、医療技術員1人、受付等事務員8人の13人。合わせて63人。

◎新病院の構造等・建築にかかる概算費用及びその予定財源は

（1）構造

鉄筋コンクリート造　2階建

病院本体部分の総床面積　約4000㎡　予定

その他、外構工事、医師住宅、車庫建築、医療器械整備等を予定しています。

（2）建築にかかる概算費用

病院本館、外構、医師住宅及び車庫整備分として約13億円程を見込む。

◎新病院の収支の見通しは

医師確保が進むものとしたうえで、1日あたりの入院患者を34人、外来患者を120人と想定し積算した結果は、開院後2年間は経常収支で1100万円ほどの赤字。その後、徐々に赤字幅の縮減により開院から6年後を目途に黒字化を予測しています。

◎新病院の建築にあたり、特に考えていることは

（1）将来における町の人口の減少に加えて高齢社会の進展が予測されることから、新病院の方向性にも掲げているように、入院の理由が直接治療以上に療養的入院の増加があった場合にそなえ、病室等の面積をそれに対応できるよう整備しようと考えています。また、行政における保健福祉医療の包括体制の構築を目指しています。

（2）町内において豊富な森林資源の活用を考え、病院という特殊な建物であり制約も考えられるが、建築資材に町内産木材を可能な限り積極的に活用していきたいと考えています。

（3）冷暖房及び給湯用ボイラーのエネルギー源として、町内産の木材（チップ等）を建築資材同様活用することを考えています。

町民の皆さんの率直な意見を聞き、それらを盛り込みながら地域医療の中核となる町民による町民のための病院建設を考えています。皆さんの参加をお願いします。

皆さんにお願いしたアンケート結果は沢内病院ホームページで閲覧できます。また、住民説明会とアンケート結果については来月号の広報でもお知らせします。

お問い合わせ先
沢内病院事務室　☎85-3131

西和賀町病院整備検討委員

（敬称略・順不同）

小山田　恵（沢内病院顧問）
大内怜次郎（北上医師会会長）
吉野　二郎（いわて愛児会理事）
田名部善明（岩手県中部保健所長）
桒田　但馬（岩手県立大学総合政策学部准教授）
淀川　豊（病院経営健全化計画推進委員・川尻）
照井　盛丈（町社会福祉協議会）
内記　正志（町老人クラブ連合会会長・前郷）
須藤　彰子（町婦人連絡協議会・上野々）
平藤　節夫（一般公募・左草）
佐々木孝道（一般公募・前郷）

検討委員会会議の様子

第1回 和賀地区水泳競技大会

力強い宣誓をする新田君

7月26日、和賀地区小学校体育連盟が主催する第1回和賀地区小学校水泳競技大会が、北上市民展勝地プールで行われました。

この大会は、小学校の統合により本町の学校が湯田・沢内両小学校となったことにより、昨年まで行われていた北上市と西和賀町のそれぞれの水泳大会を再編し、今年からの和賀地区として合同で開催することとなったもので、各校の5、6年が参加しました。

開会式では、本町の野中孝勇教育長が「他校の選手とおおいに競い合い、交流を深めてください。支えてくれているすべてのみなさんに感謝の気持ちを持ち、日頃の力を発揮してください」と激励の言葉を述べました。また、選手を代表し湯田小6年の新田蓮くん（湯田）が「今の県内や周りの県には、水泳だけでなくあたり前の生活すらできないたくさんの仲間がいます。たくさんの仲間の思いを胸に精一杯競技します」と力強い宣誓を行いました。

競技は5年生、6年生の部に分かれて行われ、50m平泳ぎや各種リレー競技などで大会新記録（大会記録は昨年度まで北上市で行っていた競技会のものを使用しています）が出るなど、練習の成果を出し切っていました。また、会場には炎天下にもかかわらず、たくさんの人が応援に訪れ大きな声援を送っていました。本町小学校の6位までの入賞者は次のとおりです。

【6年男子】
・50m自由形　第6位
丹波亜也人（沢内小・川舟）35秒73
・200mリレーB　第3位
沢内小　2分49秒07

【6年女子】
・100m背泳ぎ　第6位
髙橋　杏美（湯田小・上野々）1分50秒22
・200mリレーB　第3位
湯田小　2分50秒36

【5年男子】
・200mリレーB　第2位
沢内小　3分07秒67
・200mリレーB　第6位
湯田小　3分17秒89

【5年女子】
・50m自由形　第3位
髙橋和優（湯田小・湯田）39秒84
・200mリレーB　第2位
湯田小　3分09秒14
・200mリレーB　第3位
沢内小　3分09秒68

※リレーは学校規模に応じてAとBに分かれ、Bブロックは湯田・沢内各小を含め12校となっています。

50mプールでの競技です

北上線沿線中学校選抜野球大会 湯田中・沢内中惜しくも敗れる

7月22、23日の両日第59回北上線沿線野球大会が錦秋湖グラウンドと沢内総合公園多目的広場を会場に行われました。

この大会は、旧湯田町教育委員会が北上線沿線の中学校に参加を呼びかけ、地域間交流や野球技術の向上を目的として昭和28年から行っている歴史ある大会です。

当日は、西和賀町、北上市、横手市から12チームが参加しました。

湯田中は初戦横手西を8対1（5回コールド）で破りましたが、2回戦で飯豊中に3対5、沢内中は金沢中と対戦し4対5で惜しくも敗れました。今大会の優勝校は、北上中学校でした。

開会式で緊張の様子の選手たち

湯田ダム水源地ツアー 水力発電の仕組みなどを学ぶ

水の大切さを学びました

7月27日、町や湯田ダム管理支所などが主催する、湯田ダム水源地ツアーが行われました。

このイベントは、「森と湖に親しむ旬間」（7／21～31）に合わせて毎年開催しているもので、本町からは湯田小と沢内小の3年生33人が参加しました。

児童らはダム本体内を見学したり、和賀仙人発電所（北上市）で水力発電のしくみについて学びました。また、貯砂ダムでは、水のカーテンでしぶきを浴び、真夏日の暑さを和らげていました。午後には、銀河ホール下の錦秋湖湖畔ステージでEボートとゴムボートの試乗を行うなど、水資源の大切さを楽しく学びました。

参加した柿澤瑠奈さん（沢内小3年・鍵飯）は「ボートに乗って橋まで行きました。手がとても疲れたけど楽しかったです」と感想を話していました。

第60回岩手県青年大会が本町を会場に開催

8月27、28日の両日、岩手県青年団体協議会が主催する第60回岩手県青年大会が、本町を会場に開催されます。

この大会の軟式野球の部では、昨年度本町の選抜チームが優勝、そして全国大会で4位に入賞している大会で、今大会も2チームが出場します。また、バスケット競技にも参加し、地元開催の大会で上位進出を狙っています。

当日は、錦秋湖グラウンドで総合開会式（10時～）が行われるほか、軟式野球競技は錦秋湖グラウンド、バスケット競技は沢内農業者トレーニングセンターで行われます。参加メンバーは次のとおりです。

■軟式野球

オール西和賀A

（監督）	小田島利政（耳取）
（主将）	駒込　賢治（鍵飯）
	大石　　大（新町）
	鎌田　拓磨（川尻）
	高橋　拓也（湯本）
	菊地　春次（上野々）
	高橋　　弦（湯田）
	駒ヶ嶺智裕（耳取）
	高橋　栄光（大野）
	内記　和人（前郷）
	高橋　宏希（湯田）
	高橋　能史（耳取）
	近藤　勝浩（猿橋）

オール西和賀B

（監督）	佐藤　秀樹（大沓）
（主将）	高橋新太郎（湯本）
	家子　　猛（湯本）
	刈田　友太（新町）
	佐藤　大紀（新町）
	佐々木　拓（太田）
	深沢　将平（耳取）
	高橋　辰徳（湯田）
	高橋　健二（湯本）
	岩井川太郎（下前）

■バスケット

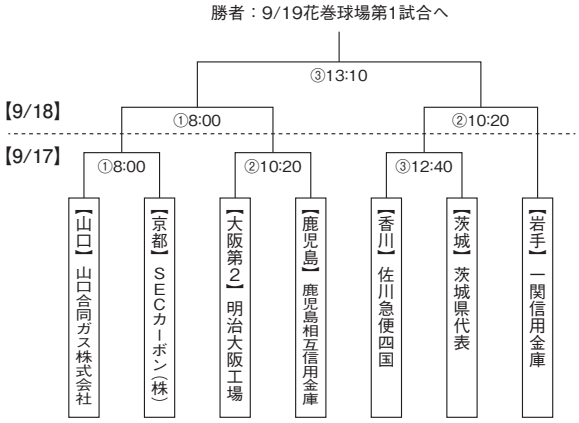
nishiwaga vegos

（監督）	佐川　　圭（湯本）
（主将）	高橋　裕之（太田）
	太田　宣承（太田）
	深沢　知宏（太田）
	高橋　浩達（泉沢）
	藤原　光広（槻沢）
	伊藤　恭兵（清水ヶ野）
	武田　勝憲（湯川）
	前川孝太郎（湯本）

天皇賜杯第66回全日本軟式野球大会 錦秋湖グラウンドで全国大会が開催

（財）全日本軟式野球連盟などが主催する天皇賜杯第66回全日本軟式野球大会は、岩手県を会場に、9月16日～21日の6日間で開催されます。全国各地の予選を勝ち抜いた50チームと前年度優勝チーム、そして、開催地の岩手県から推薦されるチームを合わせて57チームが熱い戦いを繰り広げます。会場は錦秋湖グラウンドのほか、県内7ヶ所で開催されます。錦秋湖グラウンドでの試合は、9月17日、18日の両日に各3試合行われます。第1試合は両日とも午前8時プレーボールとなります。錦秋湖グラウンドの組み合わせは次のとおりです。

■錦秋湖グラウンドでのトーナメント表



感動と発見をおみやげに 夏休みのさそう館は大賑わい

【自然塾のサマースクール】

8月3日から5日、ブナの森自然塾さそう館で自然塾のサマースクールが行われました。ブナの森自然塾さそう館運営委員会と町教育委員会生涯学習課が主催し、季節ごとに年4回行っているもので、町内や北上市の4年生以上の小中学生17人が参加しました。

2泊3日で行われたサマースクールは、ウォークラリーや川遊び、キャンプファイヤーなど夏ならではのメニューと畑から掘ったジャガイモを使ったクッキングが行われました。また、布団を敷いたり、食事の準備や片付け、ゲームやテレビも無く遊ぶのもみんなで考えなくてはいけない、言わば「自律」を体験しました。

また、同じ期間で開催していた「被災地の子供たちに笑顔の夏をプロジェクト」事業（岩手県主催）で、旧越中畑小学校でキャンプ体験をしている沿岸の子ども達との合同学習会なども行われ、楽しい夏の思い出づくりとなりました。

【夏休みフリースクール】

サマースクールに引き続き8月9日から11日、早稲田大学児童文化研究会と町教育委員会で主催する夏休みフリースクールが行われ、町内の児童およそ40人が参加しました。

この事業は湯田町時代から継続して行われているもので、今回は子どもたちとの工作企画「つくって遊ぼうSUMMER2011」、体をおもいきり動かせる企画「西和賀スポーツ大会2011」、人形劇「世界征服をやめさせろ！」のメニューで子どもたちを迎えました。初日は、たこやこまなどを作り出来栄えを競い合っていました。

登山家の小松由佳さんからK2（標高8611m世界第2位）に登山した様子を聞きました

沢内ジュニアソフトスポ少（女子）が県大会

沢内小学校の児童で組織する沢内ジュニアソフトスポーツ少年団が、8月27、28日に一関市東山町で開催される第40回岩手県スポーツ少年団ソフトボール大会の出場を決めました。（関連記事P15）

激震　東日本大震災
復興に向けて今こそ心ひとつに⑤
～ボランティアに参加した西高生の感想～

本町に一時避難していた多くの人が帰っていきました。被災地の復興は進んでいるのか、また、被災された皆さんの生活は大丈夫なのか。現在も町内からのボランティア活動は継続し行われています。今回は、復興に向けボランティア活動に参加した西和賀高校生の率直な感想を紹介します。何百年に一度の大震災。この事実を忘れることなく、今後に生かして欲しいと思います。

被災地ボランティア学習をとおして

実施地：大船渡市（大船渡ボランティアセンター）
実施日：7月7日㈭

岩手県立西和賀高等学校
3学年　平澤　凛さん（泉沢）

私が大船渡に着いて最初に思ったことは、バスの中からも分かりましたが、生臭い臭いでした。油のような臭いと海水の臭いが混ざっていて気持ちが悪くなりました。

私達女子は30人で施設の中で流されてしまった膨大な数の写真やアルバムなどの土をはらい、そこから写真本体のみをはがすという作業を4班に分かれてしました。そこの地域では重油による被害が一番ひどかったと聞きました。言われたとおりで、アルバムや写真は4ヶ月もの間、海水や泥重油がついたままでカビが繁殖しているものや、それらのせいで写真のインクが溶けて何の写真なのかも分からないものが多かったです。中には、結婚式の写真や入学式、卒業式、旅行に行ったときの思い出などもありました。作業しながら〝今この人はどこにいてどんな気持ちなんだろう〟とか〝流されている人たちもいるのだろうか〟とか思ってしまいました。作業をする前に担当の方の話の中で「写真をさらに長生きさせたい」と言っていました。担当の方も作業中の人も、自分達も被災しているのに、自分の技術を他の人たちのために活かそうという気持ちが強くて、すごい人たちだと尊敬しました。写真を見ていると〝絶対この写真を持ち主に返してあげたい〟という気持ちになりました。普段なんとなく記念に撮って飾ってある写真ですが、作業している写真一枚一枚に込められた気持ちとかを考えてしまって、泣きそうになりました。担当の方は「重要で一番時間がかかる作業だから本当に助かりました」と言ってくれましたが、本当に私達がやったことはほんの少しだったと思います。でも、そのほんの少しの作業を手伝えたことで、被災の恐ろしさがあらためて実感できたし、もっと被災地のために何かできないものかと考えるとても良い機会でした。ありがとうございました。

「絶対に返してあげたい」と丁寧に作業

町婦協が大槌町で炊き出し

西和賀町婦人連絡協議会（高橋千賀子会長・川舟）は、7月24日に大槌町で炊き出しを行いました。炊き出しには会員20人が参加し、ミズのからしあえやキュウリの一本漬け、リンドウなどが無料で配られたほか、会員らが使用していない鍋を集め届けました。

また、町婦人連絡協議会のほか、北上市の「つなげるつながる委員会」（支援物資・バザーを提供）と奥州市の「お米シスターズ」（中華飯を提供）とも協力し、大槌町のみなさんに元気と笑顔を届けました。

町の花リンドウで元気づけ

自主防災組織に担架寄贈

㈶岩手県消防協会北上地区支部から本町の8組織にアルミ製の折りたたみ担架が寄贈され、7月29日に北上地区消防組合消防本部で交付式が行われました。今後、万が一の場合に備え、各自主防災組織での力強い見方となります。交付が行われた組織は次のとおりです。

貝沢防災会・川舟防災会・若畑区防災会・長瀬野行政区自主防災会・弁天防災会・湯川温泉自主防災会・小繋沢地区防災会・越中畑行政区防災会（いずれも会長は行政区長が兼務）

目録を受け取る髙橋久男さん（長瀬野区長）

正岡子規の足取りをたどってはてしらずの道 俳句大会

7月30日、湯本温泉のホテル対滝閣で、第15回子規「はてしらずの道」俳句大会が行われました。

この大会は、かつて正岡子規が、湯本温泉を含めた東北各地を旅して詠んだ俳句を集めた「はてしらずの記」にちなんで行われています。湯本地内に正岡子規の句碑が建立された平成9年から、湯本温泉観光協会（大沢長嘉（ながよし）会長）などが主催し毎年行われています。

今回の大会には、町内外から愛好家およそ90人が参加し、正岡子規と同様に当地での思いを詠みあげました。

大会は、当日の参加者が投句する席題の部、全国から募集した句からなる兼題の部（応募者数130人・総句数382句）で行われ、審査の結果それぞれ特選句が選ばれました。また、町内各所に設置された投句箱に寄せられた62句の中から5句の入選句が選ばれました。

子規「はてしらずの道」俳句大会 特選作品（敬称略）

席題の部（当日句）

●子規「はてしらずの道」俳句大会賞〈北上市〉泉　富保
泰然とまさしく蛇行赤まむし

●西和賀町長賞〈盛岡市〉菊池　節子
黴（かび）の香にむせてマタギの掟きく

●西和賀町教育委員会教育長賞〈花巻市〉後藤　冴子
子規句碑へ一歩目まとひ払いつつ

●西和賀町観光協会長賞〈北上市〉小原十三丸
滴りの巌に神の声聞こゆ

●西和賀町芸術文化協会長賞〈北上市〉鉄本　正人
まだ着かぬ多つをの車青時雨

兼題の部（募集句）

●子規「はてしらずの道」俳句大会賞〈北上市〉鉄本美那子
シャンパンのコルク抜く音更衣

●西和賀町長賞〈宮城県〉鈴木　五朔
被災地に吹く涼風に癒やされる

●西和賀町教育委員会教育長賞〈北上市〉浅田　哲心
和賀流の句碑の草刈る妻に会ふ

●西和賀町観光協会長賞〈盛岡市〉内藤　照子
早池峰の雪渓を踏む遊歩道

●西和賀町芸術文化協会長賞〈奥州市〉小野寺勝次
子規の道月の涼しき出湯かな

投句箱入選句

旅人の後追ひゆくあいの風
〈西和賀町〉吉田　由美

新緑に負けない和賀川の蒼さかな
〈陸前高田市〉千葉　洋巳

子規句碑の乾き出したる青時雨
〈北上市〉中嶋　広江

剣舞に心みたされ春の夜
〈陸前高田市〉吉田　政子

露天湯の母娘に瀬音もみぢかな
〈東京都〉藤原　涼子

今年も暑い夏になりました
沢内マラソン マスターズ大会

８月７日、志賀来ドーム周辺を会場として、西和賀の夏のイベントとして知られる沢内マラソンが行われました。

◆総合優勝者紹介（敬称略）

10キロ男子	藤　原　裕　規	（北上市）	34分28秒
10キロ女子	菅　原　初　江	（一関市）	42分12秒
５キロ男子	佐々木　信　彦	（青森県）	16分19秒
５キロ女子	小野寺　たけ子	（一関市）	21分38秒

◆町内入賞者（敬称略）

５キロ男子34歳以下	第6位	髙　橋　裕　之	（太田）
５キロ男子70～74歳	第6位	平　澤　安　保	（泉沢）
10キロ男子34歳以下	第2位	伊　藤　盛　彦	（新町）
10キロ男子34歳以下	第5位	齋　藤　陽　一	（大沓）
10キロ男子45～49歳	第6位	山　﨑　浩　行	（湯本）

平成９年から毎年行われている沢内マラソンマスターズ大会は、今回で15回目を数えます。

この大会は町や岩手マスターズ陸上競技連盟などが主催し、10キロの部と５キロの部があり、それぞれ５歳刻みの年代別で競技が行われました。今年の参加者は全国各地から542人が集まり、町内からは19人がエントリーしました。

開会式では、大会会長の細井町長が「この大会は数少ない真夏のマラソン大会です。私達は東日本大震災で知った自然の恐ろしさ、そして、やさしさと同調しながら生きています。今日の暑さも自然が与えてくれたものです。それにいかに適応し行動していったらいいか受け止めながら、思いっきり汗を流してください」とあいさつをしました。

大会は、10キロの部が午前９時30分に、５キロの部がその５分後にスタート。

毎年８月に行われるこのマラソン大会は、真夏ということもあり気象条件の厳しい大会です。今年も暑い太陽の下、沿道の声援を受けながら選手たちが駆け抜け、496人が完走しました。10キロ男子45～49歳の部で６位に入賞した山﨑浩行さん（湯本）は「とにかく熱かったです。インターハイの審判などで練習不足だったが、予定外に走れていました」と話していました。総合優勝者と本町関係の６位までの入賞を紹介します。

告知端末開局延期について

広報６月号でお知らせしていた告知端末開局日（８月１日）ですが、現在、６月24日の大雨被害により、猿橋地区内の一部施設で土台が流されるなどの損害を受けたことにより延期をしています。

現在、復旧作業を行っていますが、すぐには回復できない状態です。開局日が決まりましたら広報等で再度お知らせしますのでご了承ください。

また、開局と同時に放送予定だったラジオ放送についても同様です。

なお、今回の被害の影響を受けない地域については、１チャンネルで引き続き試験放送（有線放送）を行っています。

◆問い合わせ先
総務課　☎82-3281

アナログ放送完全終了は３月31日まで延期

岩手、宮城、福島の３県のアナログ放送の完全終了が来年３月31日まで延期となりました。

アンテナや宅内施設のデジタル化が終わっていなかったため、テレビを買って取り付けても地デジ放送が映らなかったということがあります。アナログ放送の完全終了直前に気付いても工事業者の対応が間に合わない可能性もありますので、早期にテレビのデジタル化対応を行ってください。

デジタル放送への切り替えが済んでいない場合、次の窓口で相談を受け付けていますので、お早めにご相談ください。

◆問い合わせ先　デジサポ岩手
☎019-903-0101
地デジコールセンター
☎0570-07-0101

水の作文コンクール

石井理沙さん（沢内中３年・川舟）が優秀賞

国土交通省や県が主催する第33回全日本水の作文コンクールで石井さんが県の優秀賞に輝き、８月18日に沢内中学校体育館で表彰式が行われました。

この作文コンクールは、８月１日を「水の日」とし、この日から一週間を「水の週間」と定めており、この期間に水の大切さや上手な利用方法について考えてもらおうと中学生を対象に行っているもので、優秀賞は県内で３人。石井さんは「ふるさとの水の流れ」と題し、自身の体験に触れ、水についての思いを伝えました。

▲表彰状を受け取る石井さん

優秀賞を受賞した作文は、第33回「全日本中学生水の作文コンクール」へ推薦されます。

また、沢内中学校としても優秀学校賞を受賞しました。

故・佐々木保夫さんに旭日単光章

叙勲　地方自治功労

生前、数々の功績を残し、平成23年6月11日に逝去された元湯田町議会議員の佐々木保夫さん（左草）が旭日単光章を受章されました。

▲細井町長よりご子息の佐々木静夫さんに叙勲の伝達が行われました

佐々木さんは昭和34年5月湯田村議会議員（昭和39年8月より町施行により湯田町）に初当選。以来、昭和46年4月まで3期12年間在職されました。

その間、産業経済常任委員長や建設委員会理事などを歴任。地方自治の発展と住民自治の向上に尽力、貢献されました。

それらの功績が認められ、昭和46年2月に岩手県町村議会議長会会長表彰、平成9年11月には湯田町長表彰（町勢功労）を受けています。

また、昭和32年7月から昭和41年7月まで湯田村農業委員会委員、昭和44年7月から昭和56年7月まで湯田町農業委員会委員を務め、水稲の増産体制の推進や農政の大きな転換施策となった生産調整の促進など、混迷する農政活動や農政振興に多大な貢献を果たしました。

入札執行状況

町では次のとおり入札を行いました。施工箇所の詳細などは担当課までお問い合わせください。
工事名は一部省略して記載しています。落札率は、税抜きの予定価格と税抜きの請負額から計算しています。また、契約額は税込みの金額を表示しています。

＜7月20日執行分＞

番号／１（建設課）
事業名／ロータリ除雪車購入
場所／川尻
内容／ロータリ除雪車購入１台　2.6m、220kw級
契約者／（株）KCMJ盛岡営業所
契約額／2,200万円
工期／議決後5日以内～H24.1.31
落札率／76.8

番号／２（建設課）
事業名／町道川尻小繋沢線翁渕橋橋梁補修工事
場所／小繋沢
内容／現場塗装工　910㎡　舗装工　247㎡　ほか
契約者／（有）菅政組
契約額／6,132万円
工期／議決後5日後～H24.1.31
落札率／94.9

番号／３（建設課）
事業名／町道東側幹線道路改良（その１）工事
場所／弁天
内容／施工延長　L=260m　舗装工　2,413㎡　ほか
契約者／（株）田中建設
契約額／3,707万円
工期／7.26～12.27
落札率／96.0

番号／４（建設課）
事業名／町道東側幹線道路改良（その２）工事
場所／弁天
内容／施工延長　L=290.6m　舗装工　2,178㎡　ほか
契約者／（有）高幸建設
契約額／4,368万円
工期／7.26～H24.1.11
落札率／95.2

番号／５（建設課）
事業名／町道湯本槻沢線道路改良工事
場所／槻沢
内容／施工延長　L=435.1m　舗装工　2,330㎡　ほか
契約者／（有）菅政組
契約額／4,620万円
工期／7.26～H24.1.14
落札率／95.4

番号／６（建設課）
事業名／町道大木原線舗装改良工事
場所／貝沢
内容／施工延長　L=395m　舗装工　1,820㎡
契約者／柿沢建設
契約額／945万円
工期／7.26～9.30
落札率／95.8

番号／７（総務課）
事業名／防火水槽設置工事
場所／本屋敷
内容／防火水槽設置工一式
契約者／（有）西村組
契約額／473万円
工期／7.26～10.28
落札率／96.4

番号／８（建設課）
事業名／湯本清水ヶ野線側溝改修工事
場所／湯田
内容／施工延長　L=267m　側溝工　L=67m　ほか
契約者／（有）薄井組
契約額／557万円
工期／7.26～10.24
落札率／96.2

番号／９（建設課）
事業名／川舟・泉沢地区配水管布設替工事
場所／川舟・泉沢
内容／配水管布設替工一式　ほか
契約者／（有）高橋重機
契約額／929万円
工期／7.26～11.10
落札率／95.0

番号／10（建設課）
事業名／戸別浄化槽設置（その１）工事
場所／大野ほか
内容／５人槽１基　７人槽４基
契約者／（有）西和賀水道
契約額／572万円
工期／7.26～11.7
落札率／94.8

＜7月21日執行分＞

番号／11（総務課）
事業名／大野地区消防屯所新築工事
場所／大野
内容／木造平屋建１棟　消防用ホース乾燥塔　ほか
契約者／（有）米沢工務所
契約額／1,449万円
工期／7.27～12.23
落札率／94.5

番号／12（学務課）
事業名／沢内小学校校舎耐震補強工事
場所／泉沢
内容／アルミブレース工事等一式
契約者／（株）田中建設
契約額／1,806万円
工期／7.27～11.23
落札率／95.6

番号／13（保健福祉課）
事業名／せんだん保育所施設改修工事
場所／猿橋
内容／改修工一式
契約者／（有）米沢工務所
契約額／1,397万円
工期／7.27～10.24
落札率／93.9

番号／14（保健福祉課）
事業名／新町保育所施設改修工事
場所／新町
内容／改修工一式
契約者／（有）松川工務店
契約額／1,235万円
工期／7.27～10.24
落札率／95.0

番号／15（沢内病院）
事業名／沢内病院病室エアコン設置工事
場所／太田
内容／エアコン設置７台
契約者／（有）沢内電業
契約額／200万円
工期／7.27～8.5
落札率／89.2

番号／16（建設課）
事業名／町道川尻湯田線災害防除工事
場所／間木野
内容／コンクリート吹付け工　1,520㎡
契約者／ライト工業（株）盛岡営業所
契約額／2,888万円
工期／7.27～H24.1.1
落札率／73.7

番号／17（建設課）
事業名／町道長瀬野線道路測量設計業務委託
場所／長瀬野
内容／測量業務一式
　　地質調査業務一式　ほか
契約者／（株）復建技術コンサルタント盛岡支店
契約額／414万円
工期／7.27～12.3
落札率／62.2

番号／18（建設課）
事業名／町道下前小繋沢線道路測量設計業務委託
場所／左草
内容／測量業務一式
　　地質調査業務一式　ほか
契約者／日鉄鉱コンサルタント（株）東北支店
契約額／1,344万円
工期／7.27～H24.1.22
落札率／93.0

＜8月9日執行分＞

番号／19（建設課）
事業名／町道湯本槻沢線道路改良に伴う配水管移設工事
場所／槻沢
内容／配水管移設工　Ｌ＝434.2m
　　給水管接続工一式　ほか
契約者／（有）湯田機械
契約額／793万円
工期／8.13～11.28
落札率／95.4

番号／20（建設課）
事業名／町道東側幹線道路改良に伴う配水管移設工事
場所／弁天
内容／配水管移設工　Ｌ＝501.5m
　　給水管接続工一式　ほか
契約者／（株）田中建設
契約額／735万円
工期／8.13～11.18
落札率／92.0

番号／21（建設課）
事業名／湯田浄水場非常用発電機更新工事
場所／湯田
内容／非常用発電機　1台
　　電源切替盤　1面
契約者／向洋電気（株）
契約額／1,103万円
工期／8.13～12.8
落札率／88.3

番号／22（建設課）
事業名／沢内簡水配水管布設実施設計委託
場所／川舟
内容／配水管布設替設計　一式
　　路線測量　一式
契約者／新日本設計(株）東北支社
契約額／399万円
工期／8.13～10.22
落札率／77.4

西和賀トピックス

岩手県知事・岩手県議会議員選挙

投開票日は９月11日（日）

東日本大震災で延期となっていた岩手県知事選挙（８月25日告示）と岩手県議会議員選挙（９月２日告示）の投開票日は９月11日となります。投票時間は午前７時～午後６時までとなります。

■投票日時　９月11日（日）午前７時～午後６時

■期日前投票開始日

岩手県知事選挙

８月26日（金）午前８時30分～午後８時

岩手県議会議員選挙

９月３日（土）午前８時30分～午後８時

■期日前投票場所　役場湯田・沢内各庁舎

■不在者投票

出稼ぎや入院中の人などは、次の方法で不在者投票をすることができます。

(1)出稼ぎなどで町外に滞在している人は、滞在先の市町村の選挙管理委員会で行うことができます。

(2)不在者投票ができる施設として指定されている病院などに入院･入所しているときは、その施設で行うことができます。

(3)一定の障害等級の身体障害者手帳や戦傷病者手帳を交付されている人、介護保険の介護認定における要介護度が要介護５の人は郵便などで行うことができます。

※投票用紙の請求については、(1)(2)は町選挙管理委員会へ請求、(3)については、不在者投票ができる施設かどうかを確認し、病院（施設）長に請求してください。

■問い合わせ先　町選挙管理委員会　☎82－3281

町議会議員選挙開票の様子

西和賀の魅力　滝の写真を絵葉書に

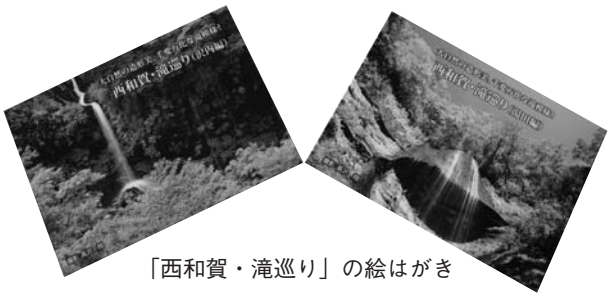
写真家・高沢翔さん（髙橋定雄・川舟）

西和賀の魅力を届けました

本町川舟在住の写真家高沢翔さんが、町内の滝にちなんだ絵はがき「西和賀・滝巡り」を作製しました。高沢さんが撮影した滝の写真の中から14点を厳選し、湯田編と沢内編の２種類を作製し、湯田編には白糸の滝や姫滝など下前風景林の滝群を、沢内編にはきぬずれの滝や天空の滝など真昼山系の滝群が納められています。また、ミニマップもつけられており、撮影した滝の場所が確認できるようになっています。

高沢さんは、各地で写真展を開催しているほか、これまでに４シリーズの絵葉書を作製しており、今回で５作目となります。「地元にはすばらしい滝が多くあります。町内のたくさんの人に地元の滝の魅力を知ってもらいたいです」と話していました。

この絵はがきは販売も行っており、湯夢プラザや沢内バーデンなど町内観光施設で１セット500円で販売しています。また、８月１～21日まで湯夢プラザにおいて、絵はがきに使った写真などの展示会も行い、多くの来場者が訪れていました。８／23～９／３まで沢内バーデンでも展示会を行っています。



「西和賀・滝巡り」の絵はがき

西和賀巡りにご利用を

観光専用タクシー「タク観（みー）クン」

町観光協会（早川久衛会長・中村）は７月１日から、タクシー観光事業「タク観クン」を行っています。ＪＲ北上線を利用しほっとゆだ駅に降りる観光客や長期休業などで帰省してくる人向けに10のコースを用意しています。

コースは、ほっとゆだ駅を発着とし、１時間半から３時間までのコースを準備し、利用者の事情に合わせやすくなっています。内容は、子規句碑めぐりコース（90分）、碧祥寺博物館・弁天島コース（２時間）、白糸の滝、女神霊泉コース（３時間）などで、人数が多い場合はジャンボタクシーで案内します。

料金やコースなど詳しくは、町観光協会までお問い合わせください。

■問い合わせ先　西和賀町観光協会　☎81－1135

「タク観クン」PRチラシ

夢、笑顔あふれる教育の実現へ向け

町 PTA 連合会教育懇談会

西和賀らしい教育の発見を

７月20日、湯田中学校多目的ホールで西和賀町PTA連合会（池田有樹会長・白木野）が主催する教育懇談会が行われ、教職員や父兄およそ40人が参加し、今後の町の教育はどうあるべきか意見交換を行いました。

懇談会は「夢、笑顔あふれる西和賀の教育」～これからの西和賀の教育はどうあればよいか～をテーマに、池田会長がコーディネーターとなり、野中孝勇教育長、太田宣承さん（子どもによる寺子屋実行委員）、北村東さん（西和賀高校校長）、阿部栄子さん（教育委員）がパネラーとなり「地域の教育力が必要」「思いを語ることが大事。人との違いを見つけることも大切」「保小中高が一体となった教育環境が西和賀には必要なのでは」「家庭では笑顔が重要。子どもの笑顔は幸せの薬である」など自身の立場から感じていることを話しました。

参加者からは子ども達が少ないことにより部活動に支障がでているなどの悩みも話され、参加者みんなで問題解決に向けた話し合いが行われました。

親元を離れ友だちと一夜を

沢内地区３保育所でお泊り会

７月22～23日に、沢内地区の３保育所年長組が親元を離れ、保育所での宿泊体験を行いました。この事業は、自分達で食事や宿泊の準備をし、友だちと一緒に泊まる体験をすることで自信や自立心を養う目的で行われているものです。

せんだん保育所では、ひまわり組11人が包丁を使い野菜を切ったり、ジャガイモやニンジンの皮むきを行い、カレーライスとサラダを作りました。中には普段から家で手伝っているという子もおり、怪我もなくおいしい夕食作りとなりました。また、新町保育所では、外にテントを張りキャンプ体験や蛍がりなども行いました。

一夜明けた早朝の迎えでは安心した表情を見せる傍ら、自信に満ちた子ども達の顔が印象に残りました。

手際よく野菜を切っていきます（せんだん保育所）

今年は志賀来から熱い思いを発信

「GREEN　MOUNTAIN～made in 音楽」野外ライブ

町内バンド「SCRATCHI」の熱唱

７月31日、大野の志賀来野外ステージで、野外音楽イベント「GREEN MOUNTAIN～made in 音楽」が行われました。

町内の若者有志で構成する実行委員会（石川伸也委員長・川尻）が企画・運営して行われ、今年で２回目の開催となりました。ライブは、11時から19時30分までの長時間行われ、町内からの７グループのほか秋田県を含む６グループの13グループが参加し、熱唱を繰り広げました。また、西和賀高校吹奏楽部の演奏や歌、踊りのほか、町内の児童・生徒で結成している「Hopping　shower」のダンスも披露され、会場一体となって盛り上がりました。会場には、フリーマーケットも出店され多くの人でにぎわいました。

若者による真夏の熱いイベントは大成功し、町に活力を与えてくれました。

子どもは地域の宝

沢内地区教育振興会が設立

８月10日、７月の湯田地区に引き続き、沢内地区でも教育振興会が設立されました。小学校統合に伴い、旧小学校ごとに組織されていた教育振興会を実践班とし、新たに沢内地区全域を対象とした沢内地区教育振興会の設立総会は太田老人福祉センターで行われ、関係者およそ30人が出席しました。

総会では、設立までの経過報告、規約の承認、役員の選出を行ったほか、今年度の事業計画と予算を決定しました。具体的な取り組みとして、旧小学校区ごとの実践班の支援や家庭学習と読書の充実などが盛り込まれ、地域一体となり活動していくことを確認しました。また、会長には髙橋定雄さん（川舟）が選任され「今まではそれぞれの実践区で特徴ある活動をしてきましたが、徐々に沢内地区振興会としての一体感を作り上げていきましょう」とあいさつをしました。会長のほか、副会長には加藤茂さん（新町）、髙橋久男さん（長瀬野）、田中實さん（貝沢）の３人が選任されました。

地域一体となった活動展開に

税務会計課からのお知らせです

▼介護保険料特別徴収額決定通知書を送付します

平成23年度分の介護保険料特別徴収額を決定しましたので、介護保険料特別徴収（年金からあらかじめ差し引く）対象者に、9月中旬に特別徴収額をお知らせする通知を送付します。なお、平成24年度仮徴収額（4・6・8月分）もあわせて記載しておりますのでご確認ください。

▼10月分からの「年金振込通知書」に記載される保険料額

日本年金機構から送付されている「年金振込通知書」には、年金から特別徴収する保険料（税）が記載されていますが、介護保険料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の10月以降分の保険料（税）額の表示は、日本年金機構の事務処理の都合上、8月と同額を表示しています。このため保険料（税）額が相違している場合があります。10月以降の保険料（税）額の正確な金額は町から別途送付する通知書でご確認ください。

▼納め忘れの税はありませんか

「ついうっかりの納付忘れ」も2期分3期分と累積すると負担も大きくなり延滞金の加算にも繋がります。

今一度お手元にある納税通知書を確認してみてください。

納め忘れがある場合は早めに納付願います。

納期限が過ぎても納付が無い場合には督促状、文書催告、電話や自宅、勤務先などへの訪問による催告を行なうほか、必要な場合には財産調査を行い法に基づいた厳正な滞納処分を行ないます。

なお、納付書が見当たらない、または諸事情により納期限内の納付が困難な場合には、お気軽に税務会計課収納グループ（直通82-3283）にご相談ください。

「納期限内の納付、または早めの相談で督促手数料・延滞金の加算をなくしましょう」

今月納めていただく税金と納期限

町県民税	2期
国民健康保険税	2期
介護保険料	2期
後期高齢者医療保険料	2期

※納期限及び口座振替日は8月31日㈬です。

◆問い合わせ先
税務会計課 ☎82-3283

町長雑記

細井洋行

○7月の暑さで一時期まいったと思いきや、その後の涼しさに「まさか」の心配。一年間で一番好きな真夏の暑さが、心地よく季節を感じさせてくれています。

○病院建設に向けて動き出しています。説明会で各地区回りを始めました。建物は言うまでもありませんが、職員には住民・患者さんのために、これまで以上に頑張ってもらわなければなりません。全員と個別対談を開始しました。病院運営に向けて頑張っていただきたいこと、そのために自分でできることは、患者さんなどに対する挨拶、笑顔は…など。できるだけ私のほうから、聴くことを2、話すことを1になるよう努めています。個別対話から自分自身の方が学ぶことが多くあります。自分の不用意な態度や表情から相手に余計なプレッシャーをかけていないか。肝心な自分の「笑顔」の方がどうなっているかが先、など。訓練の「たてじわストレッチ」なる手法も提案いただきました。鏡に向かって「エイ！ヤ！」と練習しています。気がついた瞬間こそ、「改善」のタイミングであることを学ぶことができました。

○早稲田大学応援部の夏期合宿が湯本温泉で始まりました。5年ぶりの来町です。9日、湯田トレーニングセンターで「応援部ヨロシクステージ」を披露。そのほか被災地訪問、県民会館での「復興支援応援部チャリティーライブ」など。応援部は、応援団員、チアリーダー、吹奏楽団で構成されますが、体を張って形から入り、形に学び、その奥義を得る、いわゆる日本人が育ててきた「道」の尊さを伝えてくれました。ちなみに団員の就職は引く手あまたとか…

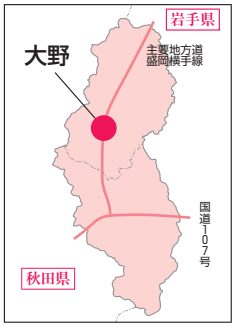
○今年も、沢内マラソンマスターズに出場しました。練習もできず5㎞の部でしたが楽しませていただきました。沿道での応援と給水、出店等のサービスに感謝します。ありがとうございます。

おらほの見どころ

行政区紹介 ㉓

大野区

お話を聞きました
行政区長　石川　嘉久さん



▶世帯数と人口を教えてください。

世帯数は52世帯、人口は166人です。（７月末現在）

▶行政区の範囲は

大野区は、北は塚根地区子安神社付近の３地割から、南は湯田地区境の13地割まで、県道１号線沿いに広がる地域です。古くから農業を中心として生活を営んできた純農山村地域です。

▶大野区の見どころは

地区の南部には、かつては営林署の種苗事業所であった広大な土地があり、現在は町の牧草地となっています。周辺には花巻農協西和賀営農センターがあり、ＤＡＧや育苗センター、農機センターなどの施設が集中しています。

また、障害者の授産施設であるワークステーション湯田沢内が牧草地の南側にあり、40名の方々が通所しています。その東側には下水道の終末処理施設があります。

大野地区では、集落営農組合活動を活発に行っています。一昨年から大豆、そばを中心に、野菜や果樹の栽培にも取り組んでいます。また、旧公民館を農機具格納庫として改修し「もっこり会館」と名づけて地域の人たちの交流の場として活用しています。

▲この日はキャベツの苗を植えました(8/8)

西和賀にこの人あり ⑲

「限界を超えて100キロに挑む」

小野寺　政　雄さん（70歳）耳取

▶走るきっかけは

47歳のときに、旧湯田町で行っていた町民運動会で1500ｍに出場し、最下位になったのがたのがきっかけで走ることに興味をもちました。錦秋湖マラソン（30キロ）にも第８回大会から出場しています。

▶100キロマラソンに出場

いわて銀河100キロマラソンは、第４回から参加し今年で４回目の完走をしました。朝２時に家を出て、４時に北上をスタートします。最初に出場したときは13時間ほどで走りましたが、今年は14時間（制限時間）まで残り13秒というところで完走できました。最後のランナーだったので、周りの声援はすごかったですね。勝ち負けでなく、自分自身との戦いです。

▶トレーニングはいつ

初めの頃は、朝２時から川舟の高下まで走ったりしてました。距離を体験するということで走りましたが、往復で60キロほどしかありません。あとは、沢内マラソンなど各種大会に参加して練習代わりにしています。

▲沢内マラソン(8/7)10キロにも出場

▶今後の目標は

100キロマラソンを５回完走することですね。特典として、好きなナンバーのゼッケン番号を永久欠番としてもらえるんです。今年は、９月の田沢湖、10月の北上の２つのフルマラソンの大会にエントリーしています。５時間以内を目標に、そろそろ練習に入ろうかと思っています。

絆 KIZUNA ―ともに歩む― ⑲

チャレンジャーの精神で県大会へ　**沢内ジュニアソフトスポーツ少年団**

▲県大会を決め喜ぶ選手たち

沢内ジュニアソフトスポーツ少年団（山田正仁保護者会長・猿橋）が、念願の県大会出場を決めました。

同少年団は、団員の確保と選手強化を目的に、小学校統合前から沢内地区全域の児童を対象に活動していました。今年のチームは６年生が３人と少なく、５年生以下が中心のチーム。小学校統合により組織体制が固まらず、練習も十分にできない日々が続いていましたが、土日や夜間の練習も行うなどして大会に臨みました。初戦奥州市のチームに11－４で勝利し、代表決定戦では練習試合などでも負けていた北上市のチームに接戦の末３－２で勝利しました。

県大会ではチーム一丸なり、チャレンジャーの精神で１勝を目指します。

役場から

奨学金申し込みを受付

町は、経済的な理由（景気雇用情勢の悪化により失業や解雇、もしくは著しく収入が減少した家庭を含む）で就学が困難な学生を援助するため、平成23年度第2回奨学金の申し込みを受け付けます。

申請書類は沢内庁舎教育委員会学務課と湯田庁舎税務会計課窓口に用意しています。

●**対象**／町内に居住している者の子で現在就学中の子
●**貸付月額**／高等学校2万円以内、高等専門学校および専修学校／3万円以内、大学院・大学・短期大学／6万円以内
●**貸付期間**／平成23年10月分から在学する学校の正規の修学期間
●**貸付利率**／無利子
●**返済方法**／卒業後10年以内に各自の返還計画に基づき返済
●**受付期間**／平成23年9月20日㈫から10月11日㈫まで
●**必要書類**／①申請書及び理由書②在学証明書③成績証明書④健康診断書⑤世帯全員の住民票の写し⑥振込口座の通帳の写し（学生本人名義）⑦離職票（保護者が失業、解雇された場合）
●**選考・通知方法**／奨学金貸与選考委員会を行い、結果を本人へ通知
●**問合先・申込先**／学務課☎(85)2337

介護保険における地域密着型サービス事業所を募集

町では介護保険における地域密着型サービス事業所（平成24年度中に事業所を開設できること）を募集します。応募に係る手続き等の詳細については、町ホームページにてご確認下さい。

●**サービス種類・募集数**／小規模多機能型居宅介護・1ヶ所
●**申込期間**／9月1日～9月15日㈭(必着)
●**問合先**／医療保険室☎(85)3414

病院整備住民説明会へ参加を

町は、「病院整備基本構想」について住民説明会を行っています。魅力ある病院整備に向け、皆さんのご意見やご要望をお聞かせください。今後の開催日程については、次のとおりです。どの会場に参加しても構いません。

●**開催時間**／19時～20時30分
●**問合先**／沢内病院事務室☎(85)3131

病院整備住民説明会日程

8月26日㈮	ふれあいゆう星館
8月30日㈫	湯田公民館
8月31日㈬	湯夢プラザ2階会議室
9月2日㈮	新田郷地区公民館
9月5日㈪	耳取地区公民館
9月6日㈫	太田老人福祉センター

国や県から

国税に関する申告・納期限のお知らせ

3月11日の震災以後延長されていた全ての国税に関する申告・納付などの納期が9月30日㈮に決まりました。振替納税を利用の人の金融機関からの振替日は10月31日㈪となります。

次の市町村に住んでいる人の期限は引き続き延長されます。▽宮古市・山田町・大船渡市・陸前高田市・住田町・釜石市・大槌町△

この市町以外に住まいの人でも、申告・納付等が困難な場合は、個別に期限の延長が認められます。詳しくはお問い合わせください。

●**問合先**／花巻税務署☎0198-23-3341

自動車税延期納期限は9月30日

延長となっていた平成23年度自動車税の納期限が、平成23年9月30日㈮となりましたのでお知らせします。納税通知書は8月末に送付となります。

また、これに伴い平成22年度納税証明書の有効期限は、9月29日㈭までとなります。その他詳しくはお問い合わせください。

●**問合先**／花巻県税センター☎0198-22-4912

自衛官を募集します

自衛隊では、次のとおり自衛官を募集します。試験日など募集種目ごとに異なりますので詳しくはお問い合わせください。

●**募集種目**／①防衛大学校学生②防衛医科大学校学生③看護学生
●**応募資格**／①②高卒（見込み含む）で21歳未満③高卒（見込み含む）24歳未満
●**受付期間**／9月5日㈪～9月30日㈮
●**問合先**／自衛隊北上地域事務所☎(63)6736または町民課☎(85)2111

国民年金保険料の免除

東日本大震災による被災に伴い、住宅、家財、その他の財産について、おおむね2分の1以上の損害を受けられた人などは、ご本人からの申請に基づき、国民年金保険料が全額免除になります。

免除となる対象者の範囲の詳細や申請手続きについてはお問い合わせください。

●**問合先**／日本年金機構　被災者専用フリーダイヤル0120-707-118

岩手農政事務所の再編について

農林水産省の組織再編の一環として、当町における農政関係事務を担当してきた岩手農政事務所地域第二課（所在地は花巻市）および花巻統計・情報センターが、9月1日に奥州地域センター（所在地は奥州市）に再編される予定です。

新たに設置される奥州地域センターでは、戸別所得補償制度等の農業経営の安定や農山漁村の6次産業化、食の安全・安心確保等の業務を行います

〈9月1日より〉
東北農政局奥州地域センター
●**所在地**／奥州市水沢区東大通り2―2―32
☎0197㈫3010（代表）
●**問合先**／岩手農政事務所総務課☎0197-24-1125

東日本大震災による被害者の皆様へ

労働者の人は、仕事中、仕事中の避難、帰宅途中などに被災したまたは行方不明になった場合、被災した本人または遺族は、労災保険による給付（治療費用、休業補償、遺族年金、遺族一時金、葬祭料等）を受け取ることができます。詳しくはお問い合わせください。

※労働者とは、正社員に限らず、パート、アルバイトの人も含まれます

※ご遺族とは、同居している人に限りません

●**問合先**／岩手労働局☎019-604-3009または花巻労働基準監督署☎0198-23-5231

高齢者・障害者の人権あんしん相談

高齢者や障害者に対する虐待などの事案が、依然として数多く発生しています。法務省と全国人権擁護委員連合会では、これらの高齢者や障害者をめぐる様々な人権問題の解決を図るための取り組みを強化するため、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化月間を実施します。

●**実施期間**／9月5日(月)～11日(日)までの7日間

●**受付時間**／8時30分～19時まで
ただし、土曜日、日曜日は10時～17時まで

●**電話相談担当者**／人権擁護委員および法務局職員

●**相談受付電話番号**／☎0570-003-110（全国共通人権相談ダイアル）

その他

北上信用金庫ATM休止のお知らせ

北上信用金庫では、コンピューターシステム更新のため、9月17日～19日にATMを休止します。これらの日は終日ATMが利用できませんので、払い戻しなどはお早めに準備してください。

●**休止日**／

9月
17日(土)
18日(日)
19日(祝)

●**問合先**／北上信用金庫西和賀支店☎(82)2220

ウォーキングのご案内

西和賀ウォーキング協会では、錦秋湖あやめウォークに続いて、初めて沢内地区で「沢内甚句の里ウォーク」を開催することになりました。県内外からも多くの参加者が予定されています。町民の皆様もぜひ参加され、出会いと交流を深めながら楽しく体力づくりをしませんか。

●**期日**／9月18日(日)8時30分～受付

●**集合場所**／志賀来ドーム

●**コース**／ドーム～鍵飯～鍵沢橋～下巾～新町～ドームの約8.5㎞

●**参加料**／町民は無料

●**申込期限**／9月13日(火)厳守

●**問合・申込先**／町ウォーキング協会事務局　深澤☎(85)3191

戸籍の窓

（敬称略）　7月14日～8月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

齋藤直之（川尻）・山下裕子（平泉町）

ご誕生おめでとうございます

佐藤愛里（あいり）（女）　大川尻

お悔やみ申し上げます

小林セツ	(92歳)	7月15日	湯本
富樫タミ	(83歳)	7月21日	間木野
佐々木亥三郎	(76歳)	7月25日	川尻
髙橋久悦	(67歳)	8月9日	川舟

住民の動き（7月末）

項目	実数	前月との比較
転入	3	－2
転出	9	－5
出生	1	－1
死亡	7	－2
人口	6,780	－12
男	3,180	－5
女	3,600	－7
世帯数	2,465	－2

交通事故の状況（7月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	3	0	0	0	0
累計	(101)	(2)	(2)	(0)	(0)

（　）は1月からの累計

火災・救急の状況（7月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	0件（2件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	1件（4件）	16件（86件）	8件（64件）	25件（154件）
搬送人員	0人（3人）	13人（78人）	7人（60人）	20人（141人）

（　）は1月からの累計

にしわが 写真スケッチ

「大姥百合（おおうばゆり）の群生」

撮影者：田村米雄さん（鷲之巣）

鷲之巣橋から町道沿いに最近多く目立つようになり、今年は特に見事である。開花時、通りから「何の花」と聞かれることがある。これの若葉と似たもので「姫座禅草（ひめざぜんそう）」があるが、最近咲かないのはなぜであろうか。

（平成23年8月1日撮影）

募集 **広報にしわがでは「西和賀写真スケッチ」に掲載する写真を募集しています。**

○写真の題材やカメラの種類は問いません。
○写真データまたはプリント写真に、100字程度のコメント、撮影場所、撮影者の住所と氏名を添えて役場総務課までお送りください。（郵送または電子メール）
○お送りいただいた写真が多数の場合は、１点選考させて頂きます。あらかじめご了承ください。

送付先／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71
西和賀町役場総務課広報係まで
電子メール／soumu@town.nishiwaga.lg.jp

おすすめの一品 Vol.43

マヨネーズ入りたまご寒天

デザート感覚で食べて見て下さい

材料
寒天3本、卵10個、キュウリ2本、マヨネーズ300ｇ、ニンジン・タマネギ少々、塩、砂糖

作り方
① 卵１０個をゆでて、白味と黄味を分けてみじん切りにする。
② キュウリ、ニンジン、タマネギも別々にみじん切りにし、布などでしぼり水分を取っておく。
③ 寒天に水を加えて煮詰め、砂糖、塩を入れ味を調える。
④ 煮詰め終わったら、マヨネーズを入れ寒天とよく混ぜ合わせる
⑤ 合わせた寒天にニンジンを入れて混ぜる。キュウリとタマネギはお好みで入れ混ぜ合わせトレーに流す。

編集後記 てにをは

今年も暑いお盆が過ぎた。数多くの震災被害者の鎮魂を心から願いたい。

さて、今年は大震災を受けて「想定外」という言葉が、多くの反論を受けた。

２ヶ月程まえ、テレビのクイズ番組で「最高能」という特集番組があった。回答者は日本の超一流大学の学者や研修者である。

そこで、驚いたことはその回答者の正解率の低さである。

こんなものかと思った反面、自然現象を想定することの難しさを感じた。

スーパーコンピューターの世界で、日本の「京」が世界一となった。

その演算スピードは、１秒間に８１６２兆回とのこと。

しかし、人類の英知の結集も起きた現象は大方解明出来ても、今後起こるかもしれない自然現象を正確に想定するには、遠く及ばない気がする。

やはり未知への畏敬の念かな。

（広報編集委員　田村公一）

広報で全国的に有名な藤沢町の畠山浩さんのお話を聞くことができました。９月に一関市と合併するため自身最後の講演とのこと。「広報を書くのに文学的な才能は必要ない」とのお話に少し安心したところですが、取材の大切さを教わりました。今後も、どんどん町を駆け巡りたいと思います。

（総務課広報担当　東　清彦）

広報 にしわが
■発行日／平成23年8月25日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行人／細井洋行　■編集人／高橋智　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK